取扱説明書　保管用

白熱灯シーリング
（天井面/傾斜天井面/壁面取付兼用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には組み立て方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれています。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕様

品　名	適合電球
ＬＷ－２８８１	Ｅ２６　φ９５ボール電球（ホワイト）６０Ｗまでｘ１灯
ＬＷ－２８８２	Ｅ２６　φ９５ボール電球（ホワイト）６０Ｗまでｘ１灯

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警　告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注　意　説明書中の「注意」は、物損および障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は必ず守っていただく事項です。
⃠ このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。
★感電事故や漏電による火災の原因となります。

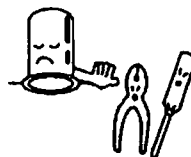
次のような場所には取り付けないでください。
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください）
○凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場所も器具の落下による事故、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

不安定な場所

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注意

この器具は周囲温度５℃～３５℃の環境で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となる場合があります。

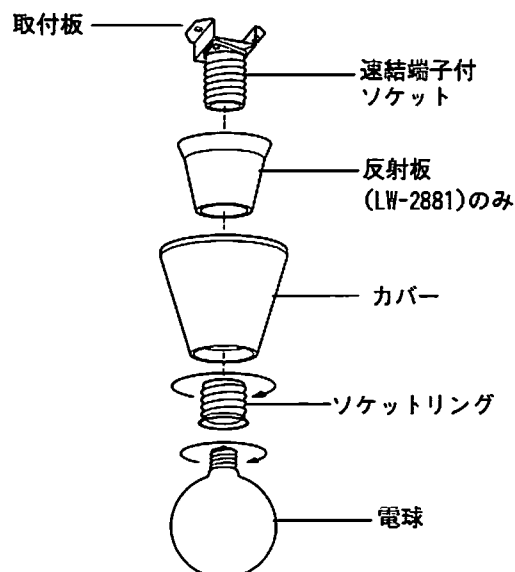
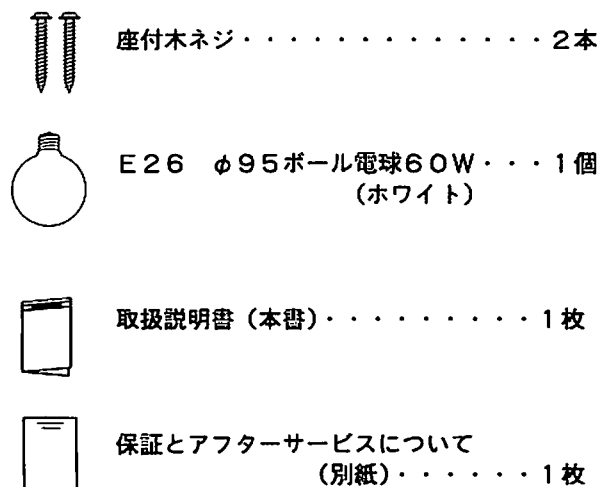
ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると過熱し、火災の原因となることがあります。

ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

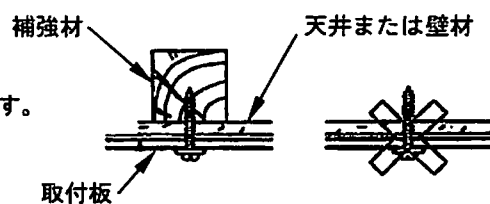
各部の名称 （説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品などがあった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

取り付け場所の確認

⚠ 警告

取付板は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

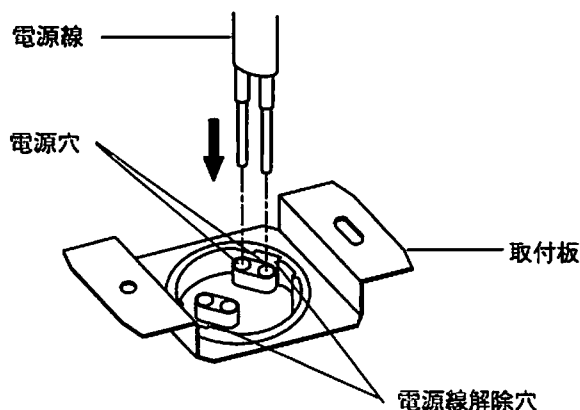
⚠ 注意

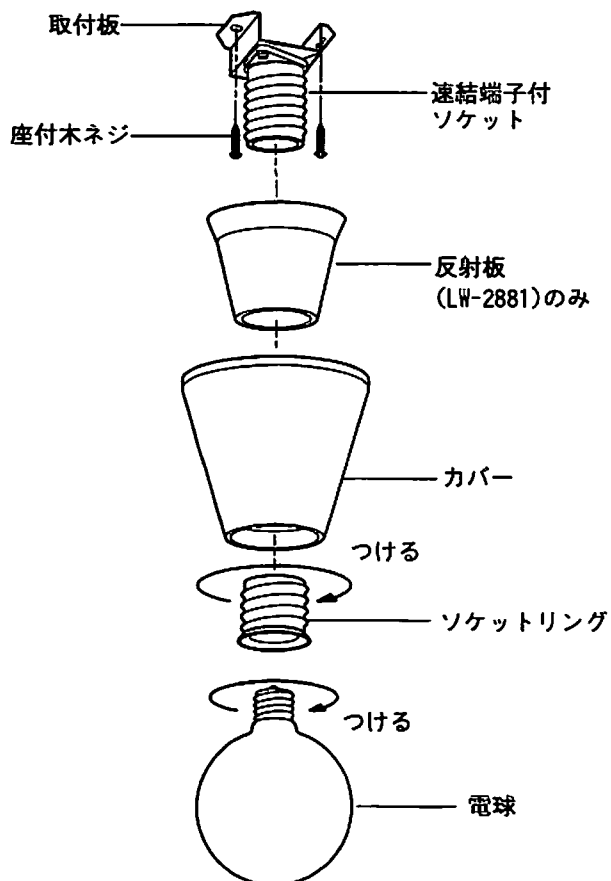
建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。
そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け方

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

器具取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

端子に差し込むケーブルは、ＶＶＦφ１．６またはφ２．０の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故となります。

１．電源線を接続します。
①電源線を速結端子のゲージ(１２ｍｍ)に合わせて剥きます。
②電源線を取付板背面の端子に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、マイナスドライバーの先を電源線解除穴に真っ直ぐ押すとはずれます。

２．取付板を取り付けます。
付属の座付木ネジ(２本)をしっかり締め込み取り付けます。

３．カバーをセットします。
ソケットリングにカバーと反射板（ＬＷ－２８８１のみ）を入れてソケットに固定します。

⚠ 注意

ソケットリングは、必要以上に締め込まないでください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

ヒビの入ったカバーや、一部欠けているカバーは使用しないでください。ただちに新しいカバーに交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。

４．電球をセットします。
電球をソケットの口金に合わせてねじ込みます。

⚠ 注意

電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球が割れて「けが」をする恐れがあります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて ⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球と器具の内側はたいへん熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
電球の交換やお手入れは、電球と器具が冷えてから行ってください。　★火傷の原因となります。
● 濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れてけがをする恐れがあります。
● 適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
● シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■電球の交換

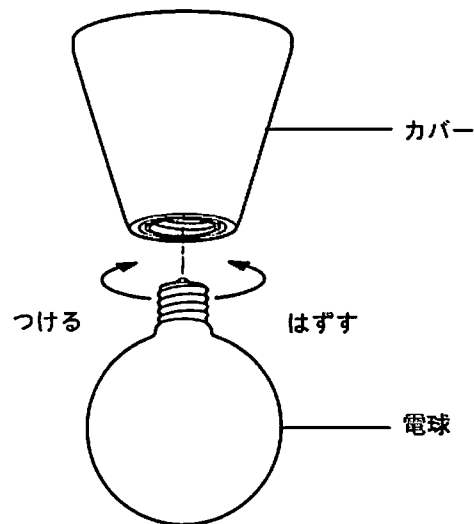
1．スイッチを切ります。

⚠注意
電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2．電球を交換します。

⚠注意
電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球が割れて「けが」をする恐れがあります。

電球を交換する際、カバーががたついていないか確認してください。
ガタつきがある場合には、止めリングを締め直してカバーを固定してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合は、ただちに新しいカバーに交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

■お手入れのしかたについて

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください。）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。